

■ タイトル：種付けおじさん養成所のメスガキ教官

▼はハートマークです

■①メスガキ教官現る！ アンタを絶対に卒業させたりしないんだから

メスガキ教官 「ふんつ、アンタが卒業試験を受ける生徒ね」

メスガキ教官 「……にしても、卒業試験の担当がアタシだなんて、不幸なやつね」

メスガキ教官 「アンタも噂くらい聞いたことあるでしょ？」

メスガキ教官 「アタシの卒業試験は、今まで誰も合格できなかつたって」

メスガキ教官 「ふふふ、ビビッてるわね……」

メスガキ教官 「でも安心しなさい、アンタもキチンと落第してあげるから」

メスガキ教官 「大体種付けおじさんなんて、ただの犯罪者予備軍じゃない」

メスガキ教官 「そんなやつらを世に送り出すわけにはいかないわ！」

メスガキ教官 「だからアタシは、この養成所の生徒を全員退学にさせてやるの」

メスガキ教官 「それがアタシがこの養成所で教官をしてる理由」

メスガキ教官 「どう、感動的でしょ、まさこ正義のヒーローって感じよね」

メスガキ教官 「ふふふ、ビビッたら言葉も出ないみたいね」

メスガキ教官 「……さて、そろそろ卒業試験の説明をしてあげようかしら」

メスガキ教官 「試験の内容は簡単よ、アンタには今からアタシとエッチをしてもらひつわ」

メスガキ教官 「エッチをして、お互にイカせ合いまくつて、

ギブアップを宣言したら、その時点で落第よ」

メスガキ教官 「逆にアンタが、情けなく射精しまくつて、

ギブアップを宣言したら、その時点で落第よ」

メスガキ教官 「落第のついでに、種付けおじさんの適正ゼロって」とで
養成所から追い出してやるわ」

メスガキ教官 「どう? とっても素敵な試験でしょ?」

メスガキ教官 「もし怖いのなら、辞退してもいいのよ?」

メスガキ教官 「アンタみたいな、マヌケそつた大人がメスガキに
敵つかないんだから」

メスガキ教官 「ふふ、無様な負け犬チンドーとして、来年また再受験しなさい」

メスガキ教官 「……何よ、受験するつて言つの?」

「ふんつ、後悔しても知らないんだからねつ」

■②耳舐め乳首舐め×手コキ あははひ、チンポビクビクさせて情けない▼

メスガキ教官 「そひ、それじやあ試験をはじぬましょひ」

メスガキ教官 「くふふふ、最初は何をしてやるうかな」

メスガキ教官 「……ひど、そうね。決めつた……」

メスガキ教官 「くふふふ。簡単に押し倒されちゃうて、情けない▼」

メスガキ教官 「ほんと、大人の癖によわよわ めーーー」

メスガキ教官 「耳穴をペロドホジホジして、アンタの耳をペロペロしてくわ」

メスガキ教官 「耳穴をペロドホジホジして、アンタのチンポを勃起させの」

メスガキ教官 「アンタは大人だから、ちゃんと勃起するの我慢できへんわよね。」

メスガキ教官 「くふふ、なーんてね▼」

メスガキ教官 「大人がメスガキに敵うわけないんだから……無様に勃起しなさい▼」

メスガキ教官 「れろり……じゅるり、ちゅり……く、くじゅるり……」

メスガキ教官 「くちゅり、ちゅ、ちゅるり……れろり、じゅるじゅる……」

メスガキ教官 「はくちゅり、くちゅ……ちゅ、ちゅぱり……れろり、じゅる……ちゅうり……」

メスガキ教官 「ちゅまつ……耳、ピクピク反応してるこ▼」

メスガキ教官 「……やつぱり、大人の男つて雑魚すきよね。」

メスガキ教官 「くふふふ……めーーー」と、めーーーき

メスガキ教官 「わゆつかねぱり……れるれれれ……くちゅり、じゅる……かみり……」

メスガキ教官 「はあむり……く、ちゅかねちゅり、くちゅねり……じゅねねり……」

メスガキ教官 「くちゅわばり……くちゅわばり……」

メスガキ教官 「ちゅう、ちゅちゅう……れふれふれお…
ちゅ、ちゅるむい……んちゅう…」

メスガキ教官 「えかきるい…チンポ、戀らんできてるぞじやないのお…」

メスガキ教官 「わすむい…マハ我慢できなじいんでしょ…

メスガキ教官 「思ひつかひ、チンポを勃起させたいでしょ…」

メスガキ教官 「……くふふ、意地はつわやつてダサいわね▼」

メスガキ教官 「アノタのべだいらない意地なんて、すぐに壊してあげるわ▼」

メスガキ教官 「わすむい、ちゅるい…くへい、わすむい…んかわじゅむい…」

メスガキ教官 「はあ、じゅる…じゅる、れふれふれえろお…」

メスガキ教官 「わすむい、わすむい、わす…わすばあ…じゅ、れぬい…わすぶ…」

メスガキ教官 「わすめり…めり、じぶんで氣持ちよくなつて…」

メスガキ教官 「くわくわ…右耳も、左耳もアロアロになつて…わすむい…」

メスガキ教官 「もひ、チンポの」とか、考えられなくなる…れひお…

メスガキ教官 「わす、わするい、わすめり…わす、わすわすわすい、わす…」

メスガキ教官 「せかせ、わするい…れわれり…えわわわわり…はあ…」

メスガキ教官 「あ→ 勃起しなやつて→」

メスガキ教官 「くふふふふふ やいぱに我慢できなかつたんだ→」

メスガキ教官 「ダツナ てか もい」 『 サルバード』

メスガキ教官 「はあー、ほぐと哀れな負け犬ワノちやん▼」

メスガキ教官
「くふふ、可愛そだから、勃起チンポ外に出してあげるわね▼」

「うわあ……プロの種付けおじさんを目指すだけあって、

ロハスニシテモ「なれ」

「野生の種付けおじさんとは比べ物にならない……」

「ま、それでも、エリートメスガキのアタシの手にかかるればイチコロなんだけど」

ニヤガラ教團

メスガキ教育 なんなんなんとう? いでも射精してもいいの?】

メスガキ教官 「野生の種付けおじさんとかつ、

「おまえ、まだ身残りしたくないからや」

メスガキ教官

「チンポつ、情けなくビクビクさせちゃつて……
もつと無様にわせいやるわ▼」

「れろお……んじゅるつ、ちゅ、ちゅる……れろつ……ちゅちゅ……」

「んつ、んじゅるるるうひ…ちゅう、あらわむかわるう…
れろれろれろお……」

メスガキ教官 「ちゅ、ちゅちゅちゅつ、ちゅむちゅる……」

「母のいふことは、おまえの心をうなづかせるやうだ。」

メスガキ教団「おじいちゃんが死んだら、おじいちゃんの命は死んでしまうんだよ。でもおじいちゃんの命は死んでしまっても、おじいちゃんの心は生きているんだよ。」

メスガキ教育「」の変態▼►「」が、『』に「」が、『』に►

メガホン教團

メスガキ教官

「ゼリザルーー！」
▼ ちゅうつかなむひ、ちゅうねかなかむひ…」

メスガキ教官

「ほむひ、んひ、んちゅるひ、ちゅ、じゅるひ、じゅる…」

メスガキ教官

「えじゅるひ、あゆひ、かゆまあ…えじゅるひ、れわれわれわ…」

メスガキ教官

「んひ、んちゅ、かゆまひ…れわれわ…じゅねむね…かゆひ…」

メスガキ教官

「ちゅむひ……金具、ヒクヒクしてたひ…」

メスガキ教官

「……ふふ、イキナツ」になつてゐるんだあ～▼」

メスガキ教官

「じゅく見た田が立派でも、一皮むけば雑魚チンポ」ト」ルね▼」

メスガキ教官

「ふり、ふり、ふり、シコシコシコヒ」
▼

メスガキ教官

「ちゅ、ちゅ、ちゅちゅ、ちゅむひちゅ、シコシコシコヒ…」

メスガキ教官

「えちゅ、あゆまあ…んひ、あゆちゅるひ…れわ、れわれわお…」

メスガキ教官

「ちゅ、ちゅ、ちゅちゅ、んひ、ちゅまひ、れわれわれわえろお…」

メスガキ教官

「はあ……先走りもじいせいあふれてる…」

メスガキ教官
メスガキ教官

「はあ……先走りもじいせいあふれてる…」

メスガキ教官

「メスガキにイジメられで、感じまくつてゐの可憐…」
▼

メスガキ教官

「くふくふくひ…なんか、アタシまだ興奮してたからやつた▼」

メスガキ教官

「特別」アンタの乳首も舐めてあげるわ▼」

メスガキ教官

「「」おでしてあげるなんて特別なんだから、感謝しなさいよね▼」

メスガキ教官

「ほむひ……んちゅるひ…ちゅひ、かゆまあ…」

メスガキ教官

「ほむひ……んちゅるひ…ちゅひ、かゆまあ…」

メスガキ教官 「んちゅわむ……」れがアンタの乳首の味なのね…

メスガキ教官 「くふふ、中々悪くないわよ…▼」

メスガキ教官 「わざわざわざわざい…べつか、わざわざわざむ…れわれわれわお」

メスガキ教官 「んちゅわ、んちゅ、んちゅわわ…じゅる、じゅる、じゅりわ…」

メスガキ教官 「れわれわれお…乳首、パンパンに勃起してる…▼」

メスガキ教官 「ちゅわ、ちゅむ…男なのに乳首で感じて…恥ずかしくないの…」

メスガキ教官 「んちゅわ、ちゅ、ちゅわ…」

メスガキ教官 「あむ…あむ…あむ…あむ…あむ…あむ…あむ…」

メスガキ教官 「あむ、ちゅむ…んわわれお…はむ、おむ、ちゅむ…」

メスガキ教官 「はむはむはむ…ちゅ、ちゅるる…」

メスガキ教官 「んひ、んちゅる…れわれお…」

メスガキ教官 「わざわざわざ…わざわざ…トロ顔…」

メスガキ教官 「はむ、ちゅる…氣持かいいんだあ…▼」

メスガキ教官 「んじゅわわ…雜魚だもんねつ…ちゅちゅむ…」

メスガキ教官 「氣持ちじじの…我慢できない、わよね…▼」

メスガキ教官 「ちゅむ…くふふ、チンポも真っ赤に…、

メスガキ教官 「戀らんぐ…ちゅ、ちゅる…」

メスガキ教官 「わちゅわ、ちゅるる…んちゅむ…じゅむ…」

メスガキ教官 「あむ、んちゅむ…かむ、ちゅ…」

メスガキ教官 「れわれわ…んちゅ…かむ…」

メスガキ教官 「んちゅわ、ちゅるる…氣持ちじじのが…」

メスガキ教官 「金玉に…」

「ちゅつ、ちゅむむつ…びゅつびゅつて、
ざい」精子つ出したいわよねつ…▼」

「れろれろお……無様に射精してつ、ちゅむつ、
氣持つて、な」
——

「れろれろお……無様に射精してつ、ち
気持ちよくなりたいわよねつ……▼」

「わゆつ、わゆゐゐうつ…じゆるつ…クソ雜魚精子つ、
もつ出しちやいなさう…れろれろお…」

「んちゅつ、ちゅつ……敗北射精つ、決めちやえつ……」

「田せり…田せり田せり田せり、出しちゃえり…」

射精... 19 分 36 秒

メスガキ教官
——んんっ！？
んんんんんうっ……」

大英教官

「くふつ、くふくふく…………」——ついで射精しちゃったわね▼

「あーあ、大人のくせにメスガキに負けちやうなんて、恥ずかし〜▼」

「ま、メスガキのエリートであるバタシが相手なんだから仕方ないわよね」

「…………でもまあ、アタシに射精させられて、
助記^{アシキ}や難持^{ヨシテ}でござるのには脅迫^{テロ}でござるつ

「だけど、これでアタシの実力は分かつたでしょ？」

「アンタバ」ときじや、ヒリートたるアタシには敵わないわ

「そつそく下座して負けを認めなさいっ」

メスガキ教官

「……ちひ、試験を諦めないなんて往生際が悪いわね」

メスガキ教官 「ふんっ、いいわ……次」そ、

完膚なきまでに叩き潰してやるんだから」

■③フ ハ→シックスナイン 今度!」と金玉を吐き出してやるわ!

メスガキ教官 「そり、次はどいやつトイジメでやるつかーひ……」

メスガキ教官 「……ふふ、そつね……」「ふうのはじめがーり」

メスガキ教官 「くふか、アンタの顔をイスにしてやったわ▼」

メスガキ教官 「じう、メスガキのイスになる気分は?」

メスガキ教官 「……ふふ、嬉しくて鼻息でしか返事できないみたいね▼」

メスガキ教官 「はー、メスガキパンツを必死に味わっちゃって、無様、無様▼」

メスガキ教官 「やつぱり、大人のオスを口内にしてこの瞬間が

一番性を実感できるわね」

メスガキ教官 「……それじゃあそろそろ、本格的にトイジメあげるわ▼」

メスガキ教官 「うわ、アンタのチンポ、精液でドロドロ…▼」

メスガキ教官 「くふ、こんな田の前にしたら、たまらないじゃない▼」

メスガキ教官 「あむ…ちゅつ、れろお……はあ、まづす▼」

メスガキ教官 「アンタの精液、濃厚すぎつ▼」

メスガキ教官 「ちゅ、ちゅるつ……ん、んちゅる……」

メスガキ教官 「ドロドロで、喉にからみついてくるつ…ほと最悪▼」

メスガキ教官 「あむ、ぐも…ちゅ、ちゅれるつ…はあむ…れろれろお…」

メスガキ教官 「くふ…つこ、よつやくきれいになつたわね…」

メスガキ教官 「くふ、「のままアンタのチンポをペロペロ吸い付くして、金玉が空っぽになるまで射精させてやるわ▼」

メスガキ教官 「れろ…れろれろ…んちゅつ、ちゅちゅむつ…」

「ちゅつ、はあ……男の人って、

チンポの裏筋舐められるの好きわよね▼

メスガキ教官 「んちゅつ、れるおー……金玉もヒクヒクして喜んでいるわよ▼」

故人不以爲子也。子之不孝，則無子矣。

れろれろれろれろお…」「

「ちゅまつ……もう我慢汁トロトロあぶれてるし▼」

卷之三

卷之三

ノノナニテ教官一カレ カレを一 カレれお われれれれれれれれれれれれ

メスガキ教官 はあ……なんかもう

「のまま離れるか、精液貯封（ちやくほう）」
▼

「んつ、あむつ……ちゅつ、じゅるつ……
ちゅ、ちゅるる……れろつ、ちゅ……」

「ちゅむつ、ちゅ、ちゅるつ…ちゅ、ちゅまつ、ちゅるるるつ……」

「あむひ、あむあむひ……んじゅるひ……ちゅ、ちゅるるひ……」

卷之三

תְּמִימָנֶה וְעַמְּדָה בְּעֵבֶר הַיּוֹם וְעַל־עַתָּה

「んじゅねねーいっ……もつ、出しちやいなさいよっ…」

メスガキ教官 「んむひ、れわれろひ……じょるひ、ちゅひ、
ちゅばあひ、ちゅぢゅひ……」

メスガキ教官 「ちゅ、ちゅるひ……んひ、れわれろひ…
ちゅかちゅ……べじゅるひ……」

メスガキ教官 「んかゅひ、ちゅひ、ちゅかちゅ……
じゅるひ……じゅうぱいじゅうぱい……」

メスガキ教官 「かゅひ、かゅるひ……れわひ、れわひ……
じゅうぱいじゅうぱい……」

メスガキ教官 「べべひ、はあむひ……ちゅ、れわれひ……じゅひ、ちゅひ……」

メスガキ教官 「べじゅるるる……チンポひ、ドクドクちゅり……」

メスガキ教官 「ちゅ、ちゅり……」

メスガキ教官 「かゅひ、ちゅるひ……出すのねひ…
精液ひ、びゅひびゅひで、出すのねひ……」

メスガキ教官 「べじゅるるる……べじゅるるる……」

メスガキ教官 「れわひ、じゅるひ、じゅうぱいじゅうぱい……」

メスガキ教官 「じゅうぱい……れわひ、んひ……ちゅひ、「ひ、
ちゅかちゅ……ちゅうぱい……」

メスガキ教官 「はあむひ、んひ、ちゅひ……ちゅぢゅひ……ちゅばあひ……」

メスガキ教官 「ちゅくひ……ちゅうぱい……じゅうぱい……」

//射精：9分16秒

メスガキ教官 「んひ……んんんん……べじゅるるる……」

メスガキ教官 「……んひ、べべひ……ちゅ、ちゅぢゅひ……」

メスガキ教官 「はあくひ……べ、べべひ……はあひ……」

メスガキ教官 「ふはあひ……ああ、マズかつた…▼」

メスガキ教官 「でも、今度「ソアント」の落第は決定ねつ」

メスガキ教官 「もう種付けおじさんなんて、くだらない仕事は諦めて、真つ当に働きな——」

メスガキ教官 「……ひて、え？ えつ？ 嘘でしょ？
じりして、また勃起してゐの…？」

メスガキ教官 「——のアタシが2回も射精させたのよー…。
それなの」「じりしてい…」

メスガキ教官 「……ふ、ふん、じつや、アンタの種付け力は、
並大抵のものではないみたいね」

メスガキ教官 「いいわ、だつた、もつ一回フューラで搾り取るまでよつ」

メスガキ教官 「んじゅくのうのうのう…かゅ、ちゅうのう、んちゅ、ちゅむむ…」

メスガキ教官 「んちゅ、ちゅむむ…」

メスガキ教官 「あむ、ちゅれりおつ…、じりて、
いつたばかりでフューラされるのは、辛いでしょ…」

メスガキ教官 「ちゅむつ…降参したくなつたら、いつでも
——つて、うにやあああああああああああああ…」

メスガキ教官 「あ、アンタつ、勝手にパンツを脱がして…」

メスガキ教官 「んんつ！？ あ、ああひ、あ、あ、あんつ…」

メスガキ教官 「んあひ…！ あ、い、いいわ…」のまどつかが先に
イカせるか勝負よつ…」

メスガキ教官 「ちゅ、ちゅる、んつ、ちゅむつ…れら…じゅくのう…」

メスガキ教官 「んちゅむつ…あ、ちゅちゅ…ちゅばあひ…あひ、ちゅちゅむ…」

メスガキ教官

「あつ……んつちゅう……じゅるつ……れろれろおつ……かゅ、ちゅぶつ……」

メスガキ教官

「ちゅむつ、ちゅるつ……くべつ……ちゅ、ちゅるるつ……んぶつ……」

メスガキ教官

「ふあつ……ちゅるつ……やせつ、ハイツ、セリヤ!」手にじゃないつ…

メスガキ教官

「んちゅむつ……つて、なに闇心しているのよつ……」

メスガキ教官

「アタシはつ……ちゅむつ……メスガキのエフートなのよつ……大人のオスなんかにい、負けたりしないつ……」

メスガキ教官

「ちゅつ、ちゅるるつ……んつ……んあり、あつ、ああつ……じゅるるつ……」

メスガキ教官

「えわゅつ、ちゅつ、ちゅわゅちゅつ……れろれろれろつ……」

メスガキ教官

「あつ、あつ、えぐつ……くべつ……ちゅつ……ちゅるつ……れろ……」

メスガキ教官

「ふつ……やばつ、あ、ああつ……」れつ、イカされるつ…」

メスガキ教官

「ちゅつ、ちゅむつ……アタシがつ、「」へなつ、簡単につ……」

メスガキ教官

「あ、ああつ……んつ、じゅるるつ……ちゅ、ちゅるむつ…」

メスガキ教官

「んちゅむつ、んくつ……ちゅ、ちゅるるつ……あつ、ああつ…」

メスガキ教官

「あ、んあああああつ……く、クリトリスはだめええええつ……」

メスガキ教官

「く、クリはダメなおつ! んあああ、や!」はメスの弱点なおつ!」

メスガキ教官

「んなあああつ! ああああつ! あつ、あつ! ああああつ! 」

メスガキ教官

「んんひじいつ……く、クリトリスを狙うなんてつ、ひ、卑怯者つ……」

メスガキ教官

「ああつ、んあああつ、ああうつ、んんうつ……あ、アタシだつて……」

「んじゅるつ、んんつ、あ、ああうつ……ちゅ、ちゅるるつ……」

メスガキ教官 「ちゅ、ちゅるるー……んあつ、ああんい……わわるー、じゅるるるー……」

メスガキ教官 「んへ、じゅるるうつ……あ、ああんっ……れろれろう……んっ……」

「んじゅるるるるる……ちゅう、んああい、ああうう……
んう、ちゅるれりうう……」

「ちゅむつ、ちゅるるつ……あ、ああ…ちゅむちゅつ……」

メスガキ教官 「あ、あつ…やあ…あ…激しつ…んん…ちゅる…」

メスガキ教會
——んじゆるる——」「れ? イカされちや? ——
んんんつ……あ?、ちゅむ?……

「ちゅ、ちゅるつ…い、イキたくないつ…あつ、はうつ……」

「はやくつ……じゅるつ……イッてよつ、イキなさいよつ……」

メスカギ教會 ちゆるる「……イケ」 イジでんん「 ああう「……！」

卷之三

卷之三

メスガキ教官 「んんんっ！？」 んんっ、ああっ、じゅるるっ、あ、

◎ 射精 · 16 分 51 秒

「ん、んあつ、んくつ……んくつ、あ……うくつ……」くつ……んんつ」

射精 16分51秒

メスガキ教官 「んあつ……はあつ……はあはあ……ま、まさか、
ーのアタシがイカされるだなんて……」

メスガキ教官 「…………くつ、勘違いしないでよね！」

メスガキ教官 「今日はたまたま調子が悪かっただけなんだからつ」

メスガキ教官 「じつもの調子だったら、アタシの圧勝だったんだからねつ」

メスガキ教官 「…調子に乗るんじゃないわよつー」

■④メスガキわからセックス んおおつー… ち、チンポなんかにつ、
んひい い いつ…。

メスガキ教官 「さあ、次はセックスで勝負よつ…」

メスガキ教官 「さつわは油断しちやつたけど、今回はそつぱいかないわよ」

メスガキ教官 「アタシは生まれてこのかた、

セックスバトルで負けた」とがないんだからねつ」

メスガキ教官 「アンタなんか、アタシのおまん」攻撃で
ボ「ボ」のけちょんけちょんにしてやるんだから…」

メスガキ教官 「んじょり…そり…」のまま騎乗位で、しぼりとつてあげるわつ」

メスガキ教官 「ん、んんつ……あつ、んつ、んんんう…▼」

メスガキ教官 「はあつ、はあ……ど、どつよ、アタシのエコートまん」はつ」

メスガキ教官 「そんじやそいのメスとは、段違いの気持ちよれでしょ。」

メスガキ教官 「ほり、ほりほり…などか言つてみなせよつ…▼」

メスガキ教官 「んつ、あ、ああつ、んあつ…ああ…ああ…▼」

メスガキ教官 「あうつ…んんつ、んつ、あんつ…ふあつ、あ、ああんつ…んつ▼」

メスガキ教官 「ふふつ…気持ちよれがうな顔しちゃつる…」

メスガキ教官 「メスガキまん」で、ぬぼぬぼシロかれて、
変な声まで出しちゃつて…▼」

メスガキ教官 「くふふ…本当に無様なワソちゃんねつ…▼」

メスガキ教官 「あ、ああんつ…んんんうつ、ん、んんつ、
んあつ、あつ、あうつ…▼」

メスガキ教官 「ん、んああつ…はあつ、ん、んく…ん、あ、ああ…ああ…▼」

メスガキ教官 「あ、んんっ……結局、大人のオスはっ、
メスガキに勝てやしないのよつ▼」

メスガキ教官 「どじつも」こつもい、最終的には、
く「く」腰を振つて…ほんと笑えるわい」

メスガキ教官 「あ、ああんっ、んあっ、ああっ…
ん、んんんっ…ふあっ、ああんっ…▼」

メスガキ教官 「アンタもっ、強がつてはいるけど…
すぐ」泣いてわびるようになるわい…」

メスガキ教官 「あ、んんっ…今から…、謝罪の言葉を教えておきなさ」つ…▼」

メスガキ教官 「あっ、はあっ、あっ…うつ、うつ、んんっ…あ、ああ、あ、あう…▼」

メスガキ教官 「んんっ、んあっ、あ、ふあっ…ん、ん…あっ、あっ…あう…▼」

メスガキ教官 「あっ、はあっ、んっ…んんっ…うつ、あ、ああっ、んう、んんっ…▼」

メスガキ教官 「あ、ああんっ、んんっ、んくっ…
チンポっ、膣りんできちつ…んんっ…▼」

メスガキ教官 「あ、ああ…そろそろ…出でたなのねつ…あ、ああう…▼」

メスガキ教官 「ああ…んっ、んんっ、いいわよ…
無様につ、雑魚射精つ決めちゃいなさい…▼」

メスガキ教官 「ふあっ、あつ…んん…出せ…、精子出せ…んく…、
出しあやしなさい…▼」

メスガキ教官 「ああんっ、んんっ、んく…んつ、んんっ、ああ…ああ…▼」

//射精…4分59秒

メスガキ教官 「んああ…あ…、ああ…ん…ん…ん…ん…ん…ん…▼」

メスガキ教官 「はあ…はあ…あ…ん…はあ…はあ…▼」

メスガキ教官 「精液、たくさん出したわね…今度…、アンタも終わりね…」

「……って、嘘つ！？ なんでもまだ勃起できるのよー。」

「なんなのよアンタっ！ これだけ射精したのに、アタシのおまんこでしづり取つてやつたのにつ

「許せないわ！」のアタマに「」まで恥をかかせるなん
――あひ、うーうー

「お？ お？ お？ ……んおおおおおおおおおおおおお！」

「あああ、つあああんんつー！」
「れー」
「やはー……」

「ああっ、なんあああああああん？…
んんんいいいいいいい！」

「あ、ありえない いつ…… あ、アタシはつ、
メスガキのエリートなのよ！」

「え、エリートのアタシがつ…んほおおつ…? 種付けおじさんなんてつ、下等な存在に い い つ…」

「あ、ああっ、んなあつあああああんっ！ イグうつー
ーれっ、イガきれりゅう！」

「あつ、あつああつ……あつ……ああ……あうつ……うつ……」

「こ、こんなのが、知らない……アタシが、こんな犯されかたするなんてつ……ありえないっ……」

こんな犯されかたするなんて……ありえないっ」「

「絶対につ、許さないからつ…絶対に、やられた分だけ、
アンタにつ——」

アンタにつ——

「んおひー？」 おおひおおんひ！ んなあああああああ！」

「ま、まだパンパンしちやつ、らぬえええつー」

「おまん」「ひ、壊されちゃう」「……」「だめ、うめなのおおひ」「……」
メスガキ教官

ああああおおおおおおおおー！」

メスガキ教團 一ああああ二 ああああああ

卷之三

ああ、ああ、ああ、ああ、ああああああつー！」

メスガキ教官 「頭つ、おかじくなりゆつ！ おかじくなりゆのおおおおつ！」

「田がへ、田がへパチパチすりゅー… んんんおおおー…」

「ああああ、んんあつああああ、ああああああああああああああ！」

卷之三

卷之三

卷之三

「はあつ……あつ、ああつ……ああうつ……うつ、うあつ……」

「いつ……イカされたつ……ま、またつ、簡単につ……いつ……うあつ……」

「あ、トマノザイ、ハーナーのメガネが壊れたわよ。」

「あ、アタシは、エリートの『メスガキなのは』……」

メスガキ教官 「チンポなんかに…絶対、負けたり、しないの？…」

メスガキ教官 「絶対……チンポなんかに…——」

メスガキ教官 「んあああああああああああああああああああああ…」

メスガキ教官 「チンポおおおお…チンポッパンパンきたあああああああ…」

メスガキ教官 「おおおおおおお…おおおおおおおおおおお…」

メスガキ教官 「あ、ああああああ…」

チンポッパンパンきたあああああああ…」

メスガキ教官 「おまんじ…ナコモド」…おなれトシタヒツヒ…」

メスガキ教官 「あ、あああああ…んなあああああああああ…」

メスガキ教官 「お、お、お、お、お、お、おおおおおお…」

おおおおお…」

メスガキ教官 「…れ、変なイキかたしかや…」

深いのきちやう…」

メスガキ教官 「あ、ああああ…んなどあるああああああ…」

メスガキ教官 「…めやう…めやう…めやう…」

「イグ… イグイグイグ…」

イグのおおおおおお…」

メスガキ教官 「…おおおおおおおおおおおおお…」

メスガキ教官 「…おおおおお…イッダ… イギモ…」

「…め…め…め…」

メスガキ教官 「死ぬ…」のまじや死んで…」

チンポ」殺され…」

「あー、ああああー……」
「おーおーおおおおおー……」

メスガキ教官

チノホー
臍らんでりゆー!
大きくなってりゆー!

死んじゃうううつ！

卷之三

メスガキ教官 「んああああつー？ ちぬつ！ イキちぬううううつー！」

射精 10分39秒

「はつ・はあつ・ん・お・つ・お・お・つ
お・つ・お・う・つ」

メスガキ教會 「さういふやうだ▼おひ、おひ▼お、おうひ▼おひ▼

メソドス、カナダの歴史

■⑤お仕置きアナルセックス お、お尻つー、お尻は、あめくわーり！

メスガキ教官 「はあつ……はあ、はあつ……あつひ…あ、はあ……」

メスガキ教官 「い、いやあ……ま、まだ、続けるつていいの……！」

メスガキ教官 「や、やめておきなさい……アンタも」れ以上射精するの、辛いでしょう？」

メスガキ教官 「大人しくギフアシハントー——」

メスガキ教官 「えきや！」

メスガキ教官 「…………んんんつー？ あ、アンタ、なにお尻に入れようとしてるの、ー！」

メスガキ教官 「ダメよつ、お尻は絶対にダメなんだから！」

メスガキ教官 「お尻に入れたりしたひつ」

メスガキ教官 「うぐつー、お、お尻」入つて……うぐつー、ー」

メスガキ教官 「え！」うべぐべぐべうべ……んうつ、んつ……」

メスガキ教官 「ふあつ、あつ、ああつ……はあつ、あうつ……んつ……んあつ、あつ……」

メスガキ教官 「あつ、んんつ、お、お尻つ……犯されてるつ……んつ、ああ、あひつ……」

メスガキ教官 「あ、あああ、ああんつ、あんつ……んはつ、はうつ……ん、んくつ……」

メスガキ教官 「ひあつ、あつ、ああんつ……んなつ、あ、ああんつ……ふつ……んつ……」

メスガキ教官 「あ、アタシはつ……お尻をつ、犯されてもつ……感じたり、しないんだからつ……」

メスガキ教官 「あ、ああんつ、んんつ……全然つ、気持ちよく、ないし……」

メスガキ教官 「こ、こなのつ、んんつ……全然つ、気持ちよく、ないし……ふあつ、あつ……」

メスガキ教官 「あ、ああんつ……とこうかつ、アンタのセックスト……下手くそつ、なのよ……」

メスガキ教官 「あ、ああつ……んんあつ……ひうつ……あ、ああんつ……んあつ、あ、ああつ……」

メスガキ教官 「んつ……んくつ……あ、ああつ……あ、あ、あ、あ、ああ……」

メスガキ教官 「あ、ああんつ……ほんとつ、カスみたいなつ、腰フリねつ……」

メスガキ教官 「く「」ぐ「」う「」マヌケなつ、「」ンちゃんみたい、だわつ……」

メスガキ教官 「あつ、あつ、ひうつ……んくつ、んくつ……あ、ああんつ……んあつ……」

メスガキ教官 「はあつ……はつ……んつ……んあつ、あ、ああんつ……んなつ、あつ……」

メスガキ教官 「あ、あんつ……はつ、お、お尻がつ、熱いつ……んつ、あ、あつ……」

メスガキ教官 「」、「」れはつ、感じてんじやつ、ないんだからねつ……」

メスガキ教官 「ヒツートのつ、アタシが……お尻で感じるわけつ……あつ、あつ……あんつ……」

メスガキ教官 「んつ、んあつ、ああつ……んつ、ああつ、あああつ、んああああつ……」

メスガキ教官 「あ、ああんつ……んつ、んんつ……あ、ああ、あつ……ふああつ、あんつ……」

メスガキ教官 「あ、アタシはつ……感じつけ、なじつ……感じてなんかあ、あああああつ……」

メスガキ教官 「んああつ、あああうつ、んなあああつ……ああうつ……ああうつ……」

メスガキ教官 「あ、ああつ……うああああつ……ひうつ……あ、あああつ……あ、ああん……」

メスガキ教官 「んおつ、あ、ああんつ……んくつ、お、お尻つ、お尻の熱いつ……」

メスガキ教官 「あ、あああつ、あああんつ……あ、あああつ、あああつ……」

メスガキ教官 「！」、「れダメつ…ダメ、ダメダメつ…んんんつ…」

メスガキ教官 「あ、あんつ…あ、ああつ…い、イキそつ…」
お尻でつ、イキそつ…」

メスガキ教官 「あ、ああつ、ダメつ…お尻で感じちやつ…
あ、ああつ…あ、ああつ…」

メスガキ教官 「お尻で感じちやつ…お尻でイッたらつ、ダメなの」つ…」

メスガキ教官 「あつ、ああああつ、んああああつ、ああああううつ…んんんつ…」

メスガキ教官 「んなあああつ、ダメつ…ああんつ、ダメ、ダメなの」つ…」

メスガキ教官 「ああつ、ああああつ…あああああつ…」
ああああああああつ…」

メスガキ教官 「イクつ、イッちやうつ…イッちやうつ、
イッちやうつ…」

//射精：5分29秒

メスガキ教官 「ああああああああああああああああああああああ…」

メスガキ教官 「あつ…あつ…うつあつ、あつ、ああ…
お尻に…」つ、精子つ、出れでりゅつ…」

メスガキ教官 「お、お腹の中…精子で…うつぱ…あ、ああつ…あ…」

メスガキ教官 「あつ…はあ、はあ…」のアタシを…
「」がで口ケにするなん…」

メスガキ教官 「…」、殺してやる…必ず、殺してやる…」

メスガキ教官 「ああ…あ…んあああああああああああ…」

メスガキ教官 「おお…お…お…おおおお…」

メスガキ教官 「はつ、激しい…んおひ、おね…あああああ…」

メスガキ教官 「はつ、激しい…んおひ、おね…あああああ…」

メスガキ教官 「ああ、ああ、ああ、あああつ！ お、お尻つ、焼けりゅうつ▼」

メスガキ教官 「えむ、レーベン。 んおおい、おねい、ねねい▼」

メスガキ教官
ああああああああああああああ
んああああああああああ▼

メスガキ教育　おおおたりー　おたりかああー　ああああああー

メスガキ教官 「んんんんうつ、んぐり、んじり……お」ひ、おおうつ▼」

メスカギ教室 おおおおおおおおん！ ああああああ

メヌカギ教官
——んひ——
ぐく……んんんう——
んなああ——
ああああ——

メスガキ教育 ああんー? イケ またイガざれやホトトギス▼

「おちりつ、イギだぐないつ……」絶対つ
メスガキ教官
イギだぐつ…………んおおおおー？」

メスガキ教官 「おおんつ！ イグつ！ イツじやうからつ▼」

六
卷之三

卷之三

第三回 老翁の心事

スルカヨウ官語にて、サシ語にて、カタカナ

卷之三

「ううひ、ああああ、終つたやう、終つたやうだよ、終つたやうだよ▲」

メスガキ教官 「んおおひ▼ おおんひ▼ おおおおおおんひ▼」

メスガキ教官 「ゆつ、許してつて、いたのにいいいいいつ▼」

メスガキ教官
「んおおおおおおおう！」、「ころしうう！」
殺してやりゆう！」

久次木主教官

ハナガ教訓 一々きやああー！？

メスガキ教官「あひいー!?

メスガキ教官 「んひいいつ！？」

メスガキ教官 「ピグうつー！」

「あーっ……あーっ……あーう……あー……あーっ……」

「さ、さあえ……おちり……おちらべ、ハパン、らあえ……」

「『ジ、ジ』めんなさい……生意氣いつて『ジ』めんなさい……

メヌカギ教育
——んおおおおおおおおおおお——!!

メスガキ教官 「やだあああつ！」 やらあああああああああ～～～！」

メスガキ教官 「んあああつーー？」

メスガキ教官 「あひいつ！？」

メスガキ教官 「んほおおおつー?」

メヌガキ教画 「おぢり♪ン♪ン」、感じりゆのおつ▼ 気持ちいいのおつ▼

メスガキ教官 「あひいつ！？」

「もつ、もうつ、これイグつ、イツじやうつ▼」

「ふおおい、おおおおおい、おおおおおおおおおんい▼」

メスガサ教官「イグつ、イグイグイグつ▼ イッじやつてりゅつ▼」

卷之三

卷之三

六二教官 一 お 一 お 一 お 一 お 一 お 一 お 一

メスガキ教室
「んおい……おい……おい……精液(?)漏れでりゅ……」

「んおつ……お……おおつ……お……」

「おおい……お、おうい……んむい……お……」

■⑥メスガキ教官の敗北宣言セツクス 卒業式、おめでとうございましゅつ ♥

「はあ？……はつ、はあ……はあ、あう……あ……はう……」

「もうもう無理でしゅう……」れ以上(ミセ)セックスできません……」

メスカキ教育
一身体が二もたないんです。許してください。

ノルカニ教官

「んきやああああつ！？」
メスガキ教官

「いや、許して、お願いします」

「みんなやる」「みんなやる」「みんなやる」

メルヒ井教輔

おまんこ、めえええええつ▼

「あ、あああああつ、あああんつ！？」

ああああああああああああ！」

「ああっ、ああんっ、んんんうっ…ひいあああああっ▼」

メダガキ教團「盛りだくさん」………

メスカキ教室 二二三三二二三三 子宮に瀆されて、貨物▼ イガされりゆ二▼

メスガキ教官
一
んあああああああ
イケ
イケイケ

三三三
三三三
三三三

イツてりゆからああああああああ▼」

メスガキ教官　「イキながらパンパンされりゆのつ、気持ちよすぎりゆううううう▼」

メスカキ教官 ああああああ三 あああんん二▼ 頭バカになつちやうううつつ二▼」

メスカギ教會
一ひいああああうづんんん
ああ、ああああああつ▼

「あ、ああんっ▼ んおつ▼ おおおおうつ▼ んおおおおおおお▼」

メヌガ井教訓 「イツダあああああああ

またイガざれたああああああああああああ▼」

卷之三

メスガキ教育
んおおおおおおおおおおおおおおおおおおおお▼

卷之三

「ああっ、ああああああっ、あああっ、ああああああああああ▼」

メスガキ教官 「ジーニーをハサウエイに会わせよう」

メスガキ教官 「んおおおおおおおお▼ イグつ▼ イグイグうううううううううううう▼」

メスガキ教官 一おつ……おおひ……んつ……た、たしゅけてつ……」

六
教官

スカイ教室 へんあく 外にかくない セイくしやで 外にかくない

「ゆつくりいつ！ ゆつくりパンパンだめなおつ！」

「あつ、んんなああつ、あああああつ、

卷之三

重いのがたまつてきてるわー！

メスガキ教官 「怖いー！ イキたくないー！ 今イッたら怖いのおー！」

メヌガキ教官 「ふわあああああああああああつ▼

〔第三回〕 おとづれの心地は、おとづれの心地をもつておとづれの心地

「いやつ！ イキたくない！」
「イキたくないのつ」

「…………はつ、はあつ……！　はつ、はつ、はつ、はつはつはつ……！」

「はつ、はつ、はうつ……は、はつ……はつ……」

あ、ああああつ、ああああああつ……」

「んなあああああああつ、あああああああうつ、

ああああああああああ

メスカギ教育
—あ あああ二あんん
んんし し し し し し し し し し 二▼

「…も、もう負けましたっ！　アタシの負けでしゅつ▼」
メスガキ教官

「んお、おおつ▼ 雜魚まん」がつ、
調子に乗つてすみましんでしたつ▼

卷之三

「…………やあべへあや、おこへいゆ

「雑魚まん」が、これ以上イツたらつ、終わつちやうんでしゅつ▼

メスガキ教官 「終わっちゃいましゅからつ…なああああイクつ▼

まが魚にさしかかる

メスガキ教育
—メスガキは大人に勝てないんでしょ？
メスガキは雑魚なんぞいやつ▼

卷之三

もつチャンボのこことか考えられないやいいい~~~~~▼

「またイッちやつのおおおおおおおおおおおおおお▼」

「…ん、ん、んんうううううううう▼
ん、ん、んんううううううううう▼」

「おおおおつ▼ んおおおおおおおおおおおお▼」

「イギながらイグのしゅ『い』のおおおおおつ▼
頭真つ白になつてりゆううつうう▼

יְהוָה יְהוָה יְהוָה

「あつ、あああうつ、んおつ、んひいいいつ、

卷之三十一

メガガ教〔
「井田」で數部アカメトウヤ、井上おひの

中出しで敗北アゲハしかやいまして、メスガキが負けるといふ、見てくださいやい いつ

ノスカヰ禁官
イブア
イブア
イブア

S

「んおおおおつ…▼ まだつ、イッてるの
止まりやないい…んおつ▼」

メスガキ教官 「大人のチンポつ、しゅ！」
「こんにやのつ、絶対に勝てにやい……▼」

メスガキ教官 「んつ、んあ……生意氣なつ、メスガキを、
教育していくだじやり……ありがとう」
「じやいましましたあ……▼」

メスガキ教官 「これからはつ、大人に逆らわない、
肉便器として、生きていくましゅ……▼」

メスガキ教官 「んおつ……▼ そ、卒業試験は…合格でしゅつ……▼」

メスガキ教官 「あ、あなたのはもう、立派な種付けおじさんでしゅつ……▼」

メスガキ教官 「これからつ、世の中のために、種付けをつ、
頑張つてくだしやい……▼」

メスガキ教官 「ご卒業つ、おめでとづ、『やるましゅつ……▼』

//了